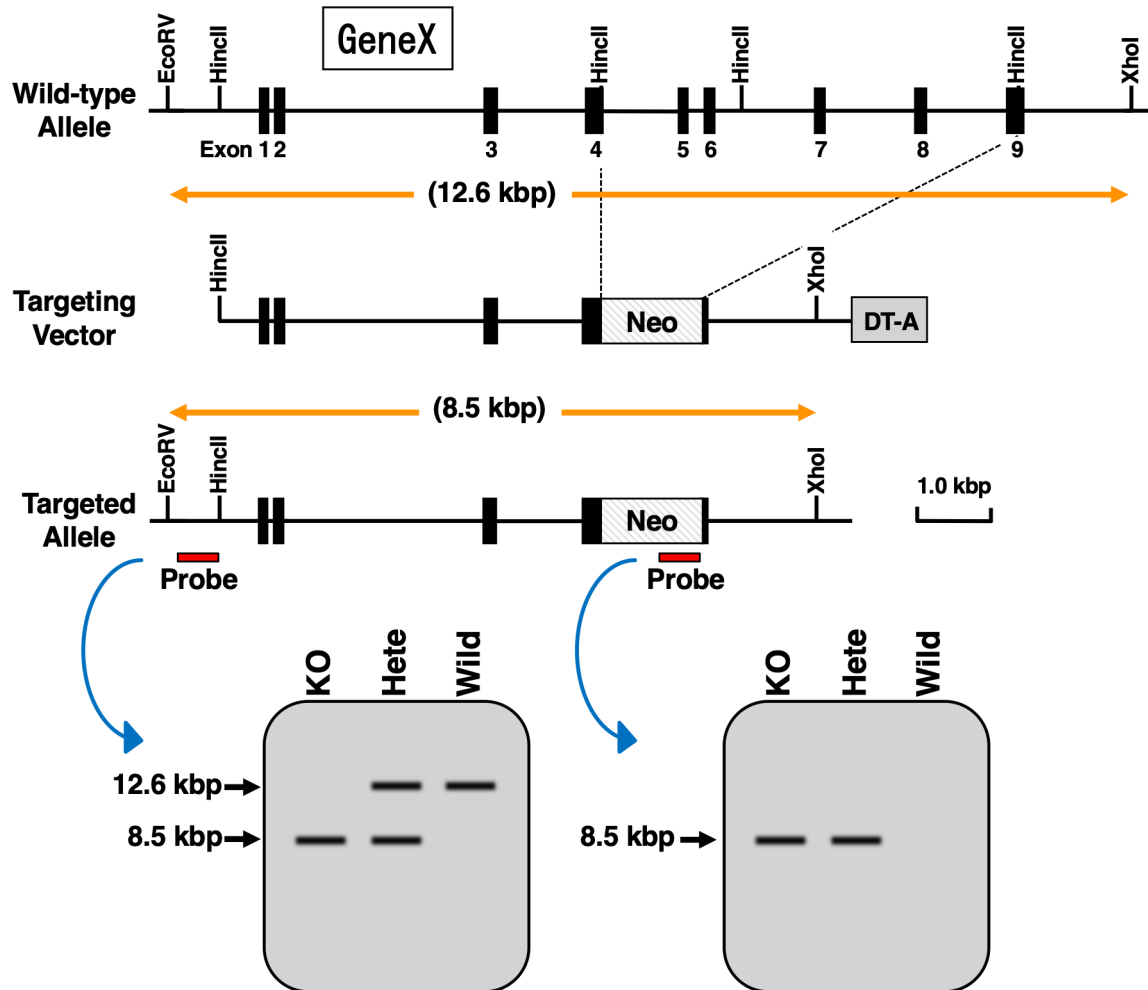


サザンブロット受託解析

※ゲノム編集技術の進展により、相同組換えを利用した遺伝子改変動物・細胞の作製は、従来より容易になりました。



相同組換え技術により作製したコンディショナルKO・ノックイン動物／細胞などでは

変異アレルおよびオフターゲット挿入の確認には、PCR解析やショートリードNGSだけでは不十分です(特にノックインの場合)

サザンブロット解析が必須です
(またはロングリードNGS)

サザンブロット解析にはRI標識法を推奨します

非RI法と比べて:

- ・高感度
- ・低バックグラウンド

※本部門では、ゲノムDNAの調製、プローブ作製、ブロッティング、プローブ標識および検出までをサポートします。また、RFLPによる遺伝子多型解析も可能です。

料金: 10サンプルを同一ゲル上で1プローブにより解析する場合、約7万円(※別途、アイソトープおよび制限酵素の購入費が必要です)